

研 修 報 告

兵庫県篠山市 に研修して

合併協議会では一月二十日・二十一日、協議会の小委員会九名、町村長二名、総務課長二名、総務部会七名、事務局三名の計二十三名で兵庫県篠山市及び稲美町に視察研修を実施いたしました。

今回の研修は、阿蘇市の本庁舎・市庁舎及び文化ホールの規模、更には職員配置等に関する課題に直面し、これらのことを検討するために実施したものです。

篠山市を研修地としたのは、人口規模や面積が阿蘇市に類似していることと、合併後五年が経ち、施設の利用や職員の配置等改善された経緯があることでした。

篠山市は兵庫県多紀郡に位置し、昭和五十年に6町村のうちの3町

村が合併し4町村となっていました。平成十一年にその4町村が合併して篠山市となったものです。

新市の発足当時から本庁集中方式で、旧町村に支所が置いてありましたが、合併後五年が経ち支所の管理や職員配置も改善され、住民の要望などその変遷を伺う事ができました。

あわせて、文化ホールの設置状況・施設規模・利用状況等も研修いたしました。沢山の施設があり、大いに参考となる有意義な研修でありました。

今後、総務部会では職員の組織計画、支所職員の組織計画を、また、建設委員会では支所の規模や文化ホールの規模などそれぞれの意見調整を進めていかなければなりません。

今回の研修では、事態に直面した課題を持ち、それぞれのところで真剣な研修がなされました。研

修で得た知識を生かし、合併した新市の施設が、円滑に且つ効果的に運営されていけるよう調整に努めてまいります。



↑篠山市長より挨拶



稲美町文化ホールを研修→